

# 2024 年 IEEE 東京支部 総会資料

2024 年 3 月 14 日

IEEE 東京支部

<https://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

# 2024年IEEE東京支部総会

## 総 会

日 時： 2024年3月14日（木） 14時50分～15時25分

場 所： 機械振興会館 6階 66

議 題： **【報告事項】**

第1号議案： 2023年活動報告

第2号議案： 2023年決算報告

第3号議案： 2024年活動計画

第4号議案： 2024年予算

## 新 Fellow 表彰式

日 時： 2024年3月14日（木） 15時35分～16時05分

場 所： 同 上

## 講 演 会

日 時： 2024年3月14日（木） 16時20分～17時30分

場 所： 同 上

講演者： 木村 英紀 氏

（システムイノベーションセンター：副センター長  
東京大学・大阪大学名誉教授）

2021年IEEE CONTROL SYSTEMS AWARD 受賞

演 題： 「オートメーションの科学:技術の前照灯のあゆみ」

## 2023-2024 年 IEEE 東京支部役員・理事・委員会

### 1. 役員

Chair	支部長	相澤 清晴	(東京大学)
Vice Chair	副支部長	佐田 豊	(東芝)
Secretary	セクレタリ	奥村 治彦	(東芝)
Treasurer	トレジャラ	樋口 健一	(東京理科大学)

### 2. 理事会メンバー

*相澤 清晴 (東京大学)	*植村 あい子 (日本大学)
*佐田 豊 (東芝)	*河東 晴子 (三菱電機)
*奥村 治彦 (東芝)	太田 直久 (元 慶応義塾大学)
*樋口 健一 (東京理科大学)	石垣 雄太朗 (東芝)
*添谷 みゆき (東芝)	中野 義昭 (東京大学)
*森田 逸郎 (早稲田大学)	重松 昌行 (住友電気工業)
*賀屋 秀介 (古河電気工業)	前原 文明 (早稲田大学)
*中村 守里也 (明治大学)	Pauline N. Kawamoto (信州大学)
*松尾 綾子 (東芝)	久本 大 (日立製作所)
*廣畑 賢治 (東芝)	

(注: \*印は、理事会の Voting Member)

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Operations	添谷 みゆき (東芝)	木村 昭悟 (NTT)	小畑 晴香 (東芝)
Fellow Nominations	森田 逸郎 (早稲田大学)	馬場 俊彦 (横浜国立大学)	釣谷 剛宏 (KDDI 総合研究所)
Membership Development	賀屋 秀介 (古河電気工業)	熊田 亜紀子 (東京大学)	李 成薫 (東京大学)
Nominations	中村 守里也 (明治大学)	平野 章 (東京電機大学)	品田 聡 (NICT)
Technical Program	松尾 綾子 (東芝)	松本 敦 (NICT)	秋田 耕司 (東芝)
Publications	廣畑 賢治 (東芝)	奥村 治彦 (東芝)	金 瑞旭 (東芝)
Student Activities ☆	植村 あい子 (日本大学)	吉田 嵩 (東京都立産業技術高等専門学校)	秦野 亮 (東京理科大学)
History	河東 晴子 (三菱電機)	鈴木 浩 (メタエンジニアリング研究所)	喜々津 哲 (東芝)

☆Student Activities Student Representative 未定

## 2023年東京支部活動報告

2024年3月14日

### Organizational Activities

- 2023年IEEE東京支部総会  
3月17日(金) 14:50～15:20, Hybrid(機械振興会館), 参加者: 60名  
2022年活動実績および会計、2023年活動計画および予算が報告された。
- 理事会
  - ・第1回: 2023年3月17日(金) 12:00～14:00 Hybrid(機械振興会館), 参加者: 19名
  - ・第2回: 2023年6月16日(金), 15:00～17:00 (東芝本社), 参加者: 20名
  - ・第3回: 2023年9月11日(月), 15:00～17:00 (サイバーエージェント), 参加者: 19名
  - ・第4回: 2023年12月1日(金), 15:00～17:00 (IBM), 参加者: 23名

### Membership Development Activities

- 会員増加と維持の取組
  - ・会員維持施策として、在籍年数バッジを製作。同一デザインで色の異なる5, 10, 20, 25, 30, 40年の6種類を製作し、毎年2月に配布する。  
※2023年2月配布数 (5年: 230、10年: 143、20年: 137、25年: 151、30年: 69、40年: 51、合計: 781)
- フェロー・シニア会員増強の取組
  - ・フェロー増強のベースとなる Senior メンバ増強のために、JC と共催で「Senior Member 申請支援 Webinar」実施。シニア申請のサポートも含めて、広くシニアメンバーを増やす取り組みを開始した。この体制での推進方法がどう機能するのかをウォッチし、チェックした上で、次年度への取り組みへフィードバックする予定。フェロー増強については、新たに JC 内に発足した Fellow Promotion Ad-Hoc コミティと連携して、Fellow 候補者の掘り起こしを図る

### Chapter Activities

- 国際会議の MOU 締結: 7件(Joint Chapter)

### Professional and Continuing Education Activities

- 講演会
  1. 2023年3月17日(金): 東京支部講演会  
演題: 「超高密度三次元フラッシュメモリの開発と将来展望」

(総会—第1号議案)

講師：鬼頭 傑 氏 (キオクシア株式会社)

場所：機械振興会館・Zoom 参加人数：43名

2. 2023年4月19日(水)：JC IPC 主催講演会

演題：「Cognitive RF Systems: Using AI to Solve Complex」

講師：Dr. Karen Haigh (IEEE AESS DL)

場所：機械振興会館、Zoom 併催 参加人数：94名

3. 2023年5月25日(木)：LMAG-Tokyo 主催

演題：「LMAG-Tokyo イブニングサロン (第6回)」

講師：笹瀬 巖 氏

(慶応義塾大学名誉教授, 元 IEEE 東京支部 Chair、元電子情報通信学会会長)

場所：機械振興会館 6階 6-66・Zoom 参加人数：32名

4. 2023年6月26日(月)：東京支部講演会

演題：「形式工学手法：形式手法とソフトウェア工学の橋渡し」

講師：劉 少英 氏 (広島大学大学院 先進理工系科学研究科教授)

場所：機械振興会館 地下3階 B3-2・Zoom 参加人数：46名

5. 2023年6月27日(火)：東京支部講演会

演題：「サイバーセキュリティの動向と対策の最前線 — 我が国のサイバーセキュリティ強化に向けた NICT での取り組み」

講師：盛合 志帆 氏 (国立研究開発法人 情報通信研究機構 執行役 サイバーセキュリティ研究所 研究所長)

場所：Zoom 参加人数：137名

6. 2023年10月6日(水)：東京支部講演会

演題：「人を知り、ロボットを賢く：人型システムの運動の理解・再現・生成」

講師：吉田 英一 氏 (東京理科大学 先進工学部 機能デザイン工学科教授)

場所：機械振興会館 6階 6D-4・Zoom 参加人数：85名

7. 2023年10月4日(水)：LMAG 見学会

演題：JAMSTEC (海洋研究開発機構) 横須賀本部 見学および講演会

講師：横井 覚 氏 (JAMSTEC 大気海洋相互作用研究センター 主任研究員・グループリーダー)

場所：JAMSTEC (海洋研究開発機構) (本部 追浜) 参加人数：23名

8. 2023年10月24日(火)：東京支部講演会  
演題：「大規模ネットワーク系の協調制御：情報・通信と制御の連携による社会的課題の解決へ」  
講師：石井 秀明 氏（東京工業大学 情報理工学院 情報工学系）  
場所：機械振興会館 6階 6D-4・Zoom 参加人数：80名
  
9. 2023年10月24日(火)：東京支部講演会  
演題：「多様な通信サービスを支える大容量光ファイバ通信技術」  
講師：森田 逸郎 氏（早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 教授・2021年IEEE Fellow）  
場所：機械振興会館 6階 6D-4・Zoom 参加人数：81名
  
10. 2023年12月22日(金)：東京支部講演会  
演題：「生体内の電気活動を、高感度磁気計測で見る世界（医療応用を中心に）」  
講師：神鳥 明彦 氏（(株)日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 主管研究  
長工学博士、医学博士）  
2020年IEEE Fellow 場所：機械振興会館 6階 6-67・Zoom 参加人数：99名

● Milestone

1. TRON Real-Time Operating System Family 1984  
IEEE President-Elect, Tom Coughlin を迎え、2023/10/14 東大にて授賞式、講演会、除幕式実施。
2. パルスオキシメータ 日本光電（2021-21）Pulse Oximetry, 1972 BOD 承認済。
3. 自動炊飯器の商業化 1923年 東芝と三菱電機 （2021-08）  
Commercialization of Rice Cookers, 1923 提案中
4. 奥村カーブ NTT、NTT Docomo （2021-15）  
Mobile Radio Propagation Model "OKUMURA-Curve"  
アドボケートの勧めに従い2件に分割。アドボケートの承認待ち。
5. 商用セルラーシステム NTT、NTT Docomo（2023-14）  
Commercial 800 MHz Analog Cellular （2023-14）  
アドボケートの承認待ち。
6. 面発光レーザー （2022-11）Vertical Cavity Surface-Emitting Laser, 1977  
サポートレター準備中。
7. 座席指定システム MARS（Magnetic-electronic Automatic Reservation System 1）  
（2022-16）MARS-1 Railroad Reservation System, 1959

(総会－第1号議案)

鉄道総合技術研究所、日立製作所、鉄道情報システム

アドボケートアサイン待ち。

8. 三相回路の瞬時無効電力理論 (2023-10, 04) 東工大 赤木泰文先生

p-q Theory of Three-Phase Instantaneous Real and Imaginary Powers, 1983-1986

アドボケートアサイン待ち。

9. 石英系 PLC を用いたアレイ導波路回折格子(AWG)型波長合分波器 (2023-22) NTT

Silica-based arrayed waveguide grating (AWG) wavelength multi/demultiplexer

支部長レター署名済。提案書サブミットに向け最終調整中。

## Students Activities

1. 5月14日 初学者のための LaTeX セミナー
2. 5月下旬 レポートの書き方講座
3. 6月30-7月1日 IEEE Student Branch Leadership Training Workshop
4. 7月下旬 はじめての Latex 講座
5. 8月5日 IEEE Humanitarian Activities Workshop in Japan
6. 8月5日 Tokyo YP プログラミング体験イベント
7. 9月 IEEE マンガストーリーコンテスト 2023
8. 10月22日 The 20th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers
9. 10月28日 第14回 IEEE 学生/若手技術者のためのキャリア開発ワークショップ
10. 11月5日 研究チーム対抗ビブリオバトル
11. 11月9日 青森県むつ市第二田名部小学校 出張授業
12. 11月24日-25日 Student, Young Professionals Women in Engineering, Life Members Workshop
13. 12月2日 Women in Engineering 2023
14. 12月23日 キックオフ・イベント

## Affinity Group Activities

- Young Professionals (YP)
  1. 4月30日 キックオフミーティング開催
  2. 4月22日 IEEE Japan Council YP Study Lab 2023 in Nagoya / YP meet
  3. 5月20日 オンライン勉強会 YP サロン
  4. 5月25日 LMAG-Tokyo 主催イブニングサロン共催

5. 6月17日 オンライン勉強会 YP サロン
6. 7月16日 オンライン勉強会 YP サロン
7. 8月5日 IEEE Humanitarian Activities Workshop in Japan 2023 共催
8. 8月19日 「IEEE Tokyo YP プログラミング体験イベント 主催
9. 9月17日 オンライン勉強会 YP サロン
10. 10月22日 The 20th IEEE TOWERS
11. 10月28日 「第14回 IEEE 学生/若手技術者のためのキャリアデベロップメントワークショップ」主催
12. 11月19日 オンライン勉強会 YP サロン
13. 11月24-25日 IEEE Japan SYWL / MAW 2023
14. 11月30日 役員会開催
15. 12月2日 Women in Engineering 2023 シンポジウム共催
16. 12月19日 The 13th IEEE Tokyo YP STEP Event

● Life Members Affinity Group (LMAG)

1. 1月4日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
2. 2月7日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (オンライン)
3. 3月17日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
4. 3月17日 LMAG-Tokyo 総会開催 (機械振興・オンライン)
5. 3月17日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
6. 4月19日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
7. 4月19日 JC IPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
8. 4月25日 LMAG-Tokyo ニュースレター第37号発行
9. 5月25日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
10. 5月25日 LMAG-Tokyo 主催第6回イブニングサロン開催
11. 6月26日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
12. 6月27日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
13. 8月5日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (波止場会館)
14. 8月5日 IEEE Humanitarian Activities Workshop in Japan 2023 共催
15. 8月29日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
16. 8月29日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
17. 9月4日 LMAG-Tokyo ニュースレター第38号発行
18. 10月4日 LMAG-Tokyo 主催 JAMSTEC 見学会開催
19. 10月24日 JC IPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
20. 10月24日 The 14<sup>th</sup> IEEE Career Development Workshop 共済

21. 11月21日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
22. 11月21日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催
23. 12月8日 LMAG-Tokyo 役員会開催 (機械振興会館)
24. 12月22日 東京支部 TPC 主催/LMAG-Tokyo 共催講演会開催予定
25. 12月19日 LMAG-Tokyo ニュースレター第39号発行予定

## ● Women in Engineering

### ◆役員会

1. 1月25日 第1回コア役員会
2. 2月20日 第1回役員会
3. 4月22日 第2回コア役員会
4. 5月23日 第2回役員会
5. 7月19日 第3回コア役員会
6. 8月28日 第3回役員会
7. 11月14日 第4回役員会
8. 12月中旬 第4回コア役員会

### ◆主催・共催・協賛イベント

1. 3月8日 “International Women’s Day” online coffee break event 主催
2. 5月25日 第6回 IEEE LMAG-Tokyo Evening Salon 【共催】
3. 6月23日 “International Women in Engineering Day + IEEE WIE Day” online coffee break events with IEEE @ UC Irvine Student Branch 【主催】
4. 8月5日 IEEE Humanitarian Activities Workshop in Japan 2023 【共催】
5. 10月22日 The 20th IEEE Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers(TOWERS) 【共催】
6. 10月28日 第14回 IEEE 学生／若手技術者のためのキャリアアップワークショップ 【共催】
7. 11月24日 IEEE Japan Council SYWL 2023 【共催】
8. 12月2日 WIE 2023 Symposium 【主催】
9. 12月4日 IEEE Shin-etsu Section 講演会 【共催】

## Awards & Recognition Activities

- 2023年 新 Fellow 表彰式

東京支部において、2023年に新たに9名の会員がFellowに昇格した。表彰式を3月17日(金)の総会と同日にハイブリッド形式で実施し、内7名が機械振興会館にて、相澤Chairより、直接記念のプラークを授与された。

● Milestone 贈呈式

1. 2023年10月14日(土)10時00分～11時00分

東京大学 ダイワユビキタス学術研究館にてTRON Real-time Operating System Family, 1984のIEEE Milestone 記念式典が開催され、Tom Coughlin IEEE次期会長より銘板が贈呈された。

## Communication Activities (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

1. IEEE Tokyo Bulletin の作成、発行

- ・IEEE Tokyo Bulletin No.147 メルマガ発行 (4月11日)
- ・IEEE Tokyo Bulletin No.148 メルマガ発行 (5月17日)
- ・IEEE Tokyo Bulletin No.149 メルマガ発行 (8月23日)
- ・IEEE Tokyo Bulletin No.150 メルマガ発行 (11月4日)
- ・IEEE Tokyo Bulletin No.151 メルマガ発行 (11月27日)

2. ホームページ更新

[IEEE 東京支部]

- ・TOP ページ (新着追加)
- ・2023年 主催・共催講演会 追加
- ・2023年 協賛イベント 追加
- ・2023年 IEEE 東京支部 総会・講演会・新Fellow表彰式 ご案内
- ・2023年 IEEE 東京支部 総会/LMAG 総会 開催報告 活動報告
- ・2022年 第4回、2023年 第1回、第2回、第3回 理事会議事録

[IEEE ジャパンカウンスル]

- ・TOP ページ (新着追加)
- ・会員構成 最新データへ更新
- ・2022年 第3回、2023年第1回、第2回理事会議事録
- ・New Fellows (2023) / Senior Member (2023) / Milestone (2023)更新

[東京支部/JC HP 全般]

- ・本部 Web Site 変更に伴う、関連ページ・リンク等の更新

(総会－第 1 号議案)

3. R10 Newsletter

以下の通り、2023 年に合計 3 件の記事が掲載された。

- Quarter 2: April Edition
  - a) LMAG-Tokyo Technical Tour 2022
  - b) IEEE Tokyo/Shin-etsu Joint Section Women in Engineering AG - WIE 2022
- Quarter 3: July Edition
  - a) LMAG-Tokyo Annual General Assembly 2023

## **Other Organizational Activities**

### **● Educational Activities**

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
2000	6,961	268	4.00	-	265	416	5,259	727	294
2010	7,865	51	0.67	2	331	473	5,937	401	721
2011	7,763	-102	-1.30	2	335	497	5,800	416	713
2012	7,987	224	2.89	2	343	511	5,959	372	800
2013	7,911	-76	-0.95	2	342	507	5,937	280	843
2014	7,849	-62	-0.78	2	346	517	5,985	245	754
2015	7,892	43	0.55	2	343	521	5,975	234	817
2016	7,835	-57	-0.72	2	343	532	5,982	210	766
2017	7,798	-37	-0.47	2	338	555	5,886	197	820
2018	7,850	52	0.67	2	333	569	5,892	202	852
2019	7,761	-89	-1.13	2	332	588	5,838	183	818
2020	7,601	-160	-2.06	2	329	610	5,736	187	737
2021	7,531	-70	-0.92	2	319	622	5,687	145	756
2022	7,558	27	0.36	2	316	622	5,659	135	824
2023	7,803	245	3.24	2	302	644	5,732	148	975

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加数	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50								
1964	666			1	8	105	302	99	151
1970	1,179	73	6.60	1	21	145	735	109	168
1975	1,915	198	11.53	-	46	173	1,400	99	197
1980	2,844	173	6.48	-	79	242	2,206	131	186
1985	4,249	253	6.33	1	144	331	3,404	197	172
1990	6,650	486	7.88	1	202	441	5,183	600	223
1995	8,892	547	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
2000	10,867	492	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2005	12,703	450	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2010	13,770	96	0.70	4	517	775	10,205	675	1,594
2019	14,232	-136	-0.95	3	489	1,050	10,385	336	1,969
2020	13,798	-434	-3.05	3	481	1,108	10,177	324	1,705
2021	13,753	-45	-0.33	3	475	1,147	10,123	244	1,761
2022	13,845	92	0.67	3	470	1,170	10,072	233	1,897
2023	14,293	448	3.24	3	451	1,199	10,196	262	2,182

略号： HM: Honorary Member

F: Fellow

SM: Senior Member

M: Member

A: Associate

St: Graduate Student, Student

## IEEE 東京支部 2023年会計報告(1～12月) 活動ベース

2024.3.14

単位：JPY

2023年予算：US\$1= ¥135で試算(22年11月JC LRSCで検討 ¥1

【収入の部】	2023年予算	決算(12月末)	予算比	備考
210 Meetings & Social Events				
定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	26,000	-	講演会等の懇親会徴収分
290 Meetings & Social Events				
不定期開催 会議/イベント 収入	0	0		
310 Rebate from IEEE HQ				
支部Rebate	3,781,755	4,113,739	109%	
YP Rebate	39,825	31,340	79%	
LMAG Rebate	39,825	42,026	106%	
WIE Rebate	29,700	42,026	142%	
SB Rebate	0	144,107	-	
Chapter Rebate	1,003,050	1,405,135	140%	
320 Region Receipts				
LMAG FUND	0	152,539	-	
YP FUND	0	0	-	
WIE FUND	0	0	-	
SIGHT FUND	0	54,366	-	
その他 Fund等	0	98,790	-	LM Certificate ,LM Photo Competition
330 Sections or Councils				
JCからのSection Assessment還元	2,635,781	2,622,612	100%	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards)				
監査費用サポート	180,000	180,000	100%	
334 IEEE HQ & Societies				
本部からのSection Assessment受取	17,571,870	17,484,083	100%	
340 雑収入 (CB口座)	5,000	289,649	5793%	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	50	2%	
<b>収入合計</b>	<b>25,289,806</b>	<b>26,686,462</b>	<b>-</b>	

【支出の部】	2023年予算	決算(12月末)	予算比	備考
410 Meetings & Social Events				
理事会・各委員会費	100,000	64,180	64%	
その他会合費	100,000	32,000	32%	
総会運営費用	650,000	766,010	118%	
講演会開催費用	500,000	404,308	81%	
430 Advertising IEEE (Expense)				
広告費	1,200,000	551,280	46%	SMメダル,ノベルティ作成
480 Student Activities				
SB支援費	800,000	572,759	72%	
SB Rebate支払	0	144,108	-	
490 Other Program Expenses				
LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	180,000	470,200	261%	Fund等込み
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	325,000	215,459	66%	Fund等込み
WIE支援費	750,000	410,959	55%	
その他イベントへの支出など	0	-		
SIGHT (Fund & 支部補助)	100,000	273,731	274%	Fundで一部相殺予定 (予測は相殺済みの金額) 27万円の増額予算について6月の理事会で承認済み
550 Support to Sections/Chapters				
Councilへの拠出金	17,571,870	17,481,083	99%	
Chapter Rebate 支払い	1,003,050	1,434,325	143%	
事務局費1 計	3,000,000	3,333,395	111%	(注釈1) JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃貸料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	326,855	65%	(注釈1) JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	-848,651	-250%	東京支部 監査費用・手数料・備品等・為替差益
予備費	1,500,000	820,288	55%	SIGHTイベント費用、SC追加派遣費用など
<b>支出合計</b>	<b>28,619,920</b>	<b>26,452,289</b>	<b>92%</b>	

収入－支出	<b>-3,330,115</b>	234,173	
前年度からの繰越金	11,226,652	11,226,652	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	<b>7,896,538</b>	<b>11,460,825</b>	(3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

(注釈1：事務局費1～2については予算月割りの暫定額にて報告)

■ 12月末日 現金残高(三井住友銀行+CB+小口)	15,712,044
内訳 普通預金	8,642,999
小口現金	20,000
東京YP口座	0
CB口座	7,049,045

## 2023年度IEEE 東京支部 決算報告書 (本部報告/監査)

科 目	2023年12月31日	2022年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金	8,642,999	4,898,790
○普通預金 (YP)	-	215,814
○CB預金	7,049,045	10,544,892
◇現金・預金合計	15,712,044	15,679,496
◇その他流動資産	※1 41,920	※1 209,340
流動資産合計:	15,753,964	15,888,836
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
固定資産合計:	145,600	145,600
資産合計:	15,899,564	16,034,436
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
2. 固定負債 (本部)	※2 -	※2 -
負債合計:	4,438,739	3,572,013
3. 正味財産	11,460,825	12,462,423
負債および正味財産合計:	15,899,564	16,034,436
<b>Profit and Loss</b>		
I. 収益の部		
2.10) 会議等参加費	26,000	22,000
2.90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3.10) 本部からのRebate受取	5,778,373	4,255,386
3.20) 本部からのFund受取	305,695	772,167
3.30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,622,612	2,169,567
3.32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3.34) 本部からのSection Assessment 受取	17,484,083	14,463,781
3.40/3.45) 受取利息	289,699	6,186
3.70) その他受取	-	-
3.90) Reserve Allocation Income	-	-
収益合計:	26,686,462	21,869,087
II. 費用の部		
4.10) 会合費	1,266,498	577,921
4.30) 広告費	551,280	539,747
4.80) Student Branch支援費	716,867	125,102
4.90) その他活動費	2,190,637	805,787
5.10) 事務所賃借料	636,733	623,942
5.20) 交通費	-	-
5.30) 給料諸給	1,332,420	1,197,344
5.50) 支部およびChapter支援	18,915,408	15,446,323
5.60) 事務局費および一般管理費	842,446	1,475,378
費用合計:	26,452,289	20,791,544
正味財産増減額	234,173	1,077,543
期首正味財産	13,569,801	12,492,258
期末正味財産	13,803,974	13,569,801

科 目	2023年12月31日	2022年12月31日
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
2. 10) 会議等参加費	26,000	16,000
2. 90) 不定期開催 会議/イベント収入	-	-
3. 10) 本部からのRebate受取	5,778,373	4,731,695
3. 20) 本部からのFund受取	299,302	215,597
3. 30) Councilからの受取 (SA還元分)	2,622,612	2,542,760
3. 32) その他本部からの受取	180,000	180,000
3. 34) 本部からのSection Assessment 受取	17,484,083	16,468,428
3. 40/3. 45) 受取利息	289,699	57,582
収入合計 :	26,680,069	24,212,062
II. 支出の部		
4. 10) 会合費	1,232,618	909,001
4. 30) 広告費	551,280	422,440
4. 80) Student Branch支援費	549,503	217,581
4. 90) その他活動費	1,893,593	1,128,921
5. 10) 事務所賃借料	-	-
5. 20) 交通費	-	-
5. 30) 給料諸給	-	-
5. 50) 支部およびChapter支援	18,831,356	17,056,054
5. 60) 事務局費および一般管理費	-848,651	-566,078
支出合計 :	22,209,699	19,167,919
現金・預金増減額	4,470,370	5,044,143
期首現金・預金残高	22,780,061	17,735,918
期末現金・預金残高	27,250,431	22,780,061

※1) 2023年度 未収

※2) 2023年度 未払

*Mori & Co.*

IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT  
FINANCIAL REPORT

IEEE Tokyo Section

December 31, 2023

Report of Independent Accountants

To the Chair of IEEE Tokyo Section

We have audited the accompanying IEEE ANNUAL GEOGRAPHIC UNIT FINANCIAL REPORT of IEEE Tokyo Section expressed in Japanese yen as of and for the year ended December 31, 2023.

The financial reporting package is the responsibility of IEEE Tokyo Section's chair. Our responsibility is to express an opinion on the financial reporting package based on our audit.

Except as discussed in the following paragraph, we conducted our audit in accordance with generally accepted auditing standards. Those standards require that we plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial reporting package is free of material misstatement. An audit includes examining, on a test basis, evidence supporting the amounts and disclosures in the financial reports. An audit also includes assessing the accounting principles used and significant estimates made by chair, as well as evaluating the overall adequacy of the presentation of the information in the financial reports. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

We were unable to obtain sufficient appropriate evidence supporting Custody Banking Tokyo Section stated at JPY 7,049,045 at December 31, 2023.

The accompanying financial reporting package has been presented solely to enable IEEE HQ to prepare consolidated financial information and not to report on IEEE Tokyo Section as a separate entity. Accordingly, the financial reporting package is not intended to present fairly the financial position of IEEE Tokyo Section as of December 31, 2023 or the result of its operation for the year then ended in conformity with generally accepted accounting principles.

In the circumstances, we are unable to and do not express an opinion on whether financial information in the accompanying financial reporting package is present fairly in accordance with generally accepted accounting principles.

However, in our opinion, except for the effects of such adjustments, if any, as might have been determined to be necessary had we been able to examine evidence regarding the bank account, the financial information contained in the accompanying financial reporting package of IEEE Tokyo Section as of and for the year then ended December 31, 2023 has been properly prepared, in all material respects, to give the information required to be shown in accordance with the procedures in the L50 Financial Report Form and Instructions on the IEEE Web-site.

The report is intended solely for the use of IEEE HQ in connection with the preparation and audit of IEEE financial information. It should not be used for any other purpose.

*Mori & Co.*

*Mori & Co.*

February 16, 2024

## IEEE 東京支部 2024 年 活動計画

### 1. 総会及び理事会

- 2024 年 IEEE 東京支部総会  
3 月 14 日(木) 14:50～15:25 機械振興会館にて開催予定
- 理事会  
以下日程にて開催予定  
第 1 回理事会: 2024 年 3 月 14 日(木) 12:00～14:00 機械振興会館  
第 2 回理事会: 2024 年 6 月 14 日(金) 15:00～17:00 未定(企業様訪問予定)  
第 3 回理事会: 2024 年 9 月 13 日(金) 15:00～17:00 未定(企業様訪問予定)  
第 4 回理事会: 2024 年 12 月 10 日(火) 15:00～17:00 機械振興会館

### 2. 財政運営

昨今の急速な円安の進行もあり、2023 年収支は健全。しかしながら為替変動は予断を許さないため円高リスクも考慮し安定した運営を目指す。2023 年度は、行動規制もほぼなくなり、完全オンラインから対面型イベントへの移行も加速したことから、2024 年は、ハイブリッドイベントのさらなるクオリティ向上を目指しつつ、オンライン・オフライン各々の長所を活かした、会員獲得、会員継続、学会加入価値の向上に繋がる活性化施策の推進をこころがける。

### 3. 講演会・学生支援活動

- 東京支部講演会の開催  
Technical Program Committee を中心に、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画する。LMAG(Life Members Affinity Group)、YP(Young Professionals) ほか各グループとの共催や関連学会との協賛を積極的に推進する。
- Students Branch の支援

東京支部の学生ブランチの数は、東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、横浜国立大学、東京都市大学(旧 武蔵工業大学)、東京電機大学、明治大学、東京理科大学、早稲田大学、中央大学、東京農工大、電気通信大学、青山学院大学の 13 校で、日本全国の学生ブランチはその他、静岡大学、大阪大学、熊本大学、北海道大学、東北大学、立命館大学、京都大学、山口大学、香川大学、奈良先端科学技術大学院大学、名古屋大学、兵庫県立大学、徳島大学、関西大学、同志社大学、福井大学、琉球大学、会津大学、広島支部 SB、信越支部 SB、

室蘭工業大学 SB があり(全国合計 34 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。千葉商科大学 SB が 2023 年に新たに設立申請を行っている。

学生ブランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけを行うとともに活動が減少傾向にあるブランチへの働きかけを行う。JC SAC と連携して感染症の拡大状況も考慮した活動支援ガイドラインを設定し、イベント開催の経済的・技術的支援などを通じたブランチ活動の活性化と連携に協力する。他 Affinity Group とも連携してブランチ新設への働きかけを行う。

#### 4. 若手会員及び Life 会員向け活動の活性化

2010 年 10 月に設立された Tokyo Life Members Affinity Group を中心に Life 会員自身の活動の活性化を支援する。また 2008 年 11 月に設立された Tokyo Young Professionals を中心に若手研究者の活性化支援を行う。さらに LMAG、YP に加え、Student Branch・Japan Council、Women in Engineering との世代・分野・所属を超えた連携・交流を推進する。

##### ● Young Professionals

2024 年は以下活動計画を検討。

###### ・YP 説明会の実施

多くの IEEE 若手会員は、YP での活動に参加するチャンネルが現状ないため、YP の活動内容や魅力を紹介する会を実施する。

###### ・IEEE Day Party の実施

コロナ禍で途絶えてしまったソーシャルイベントを復活し、ネットワーキングの場を拡充する。

###### ・出産・子育て関連の体験談共有イベント

今後子供を持つ人のキャリアイメージを具体化したり、子育てのアイデアをもらえるような会を実施したいとの声があり、YP Salon などでの実施を検討。

###### ・SB と YP の共催イベントを積極推進

学生のうちから YP と一緒に活動することで、YP でどのような活動ができるのか早期から知ることができる。

##### ● Life Members

3 月 22 日 LMAG 総会開催予定。LMAG 見学会、サロン、ニュースレターの発行など、引き続き Life 会員の交流を行う。

##### ● Women in Engineering

Tokyo Shin-etsu Joint Sections WIE は 2020 年 7 月に設立され、東京支部および信越支部のメンバーが連携しながら活動を行なっている。2023-2024 は信越支部のカワモト先生が Chair となるため、引き続き信越支部における WIE の認識と会員数の増強を目指したい。今後も他 AG と連携しながら活発にイベント開催し、WIE の周知および会員の勧誘を行う。

## 5. 認定及び表彰支援

### ● Milestone 認定支援

2014 年、日本で初めての Section 傘下の History Committee を常設委員会として発足した。今後も、Milestone 認定への取り組みを引き続き積極的に行う。マイルストーン推薦に不慣れな組織に関しては、推薦書作成、提出を代行することにする。また、JC-HC のホームページ管理をおこなう。

### ● IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」「研究機関内に奨励活動を促進するキーパーソンを選定し、フェロー推薦、シニア申請を増やす」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2012 年からの施策を継続し、ノミネーションのための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図るとともに、Fellow、支部会員、各研究機関への電子メールを通じての広報を推進することで推薦数増を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

## 6. 会員とのコミュニケーションと会員の拡大

### (Newsletter, Home Page, E-mail etc.)

### ● ホームページと Tokyo Bulletin

東京支部ホームページの内容更新および拡充を進め、会員への情報サービスの向上を図る。Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin (日本語、英語)を通じて、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。

### ● 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、引き続き Membership Development Committee の活動の活性化、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増加を図る。また、高グレード会員 (Fellow + Senior Member) の比率が、IEEE の全体平均より低い水準にあることを踏まえて、Senior Member の増強に向けた施策を検討する。

さらに、ホームページによる情報発信および効果的な活用を進め、支部独自の表彰制度の新設についての検討も行う。

## 7. Industry Promotion 活動の強化

東京支部が主催した MAW2015 に続き、関西支部主催で MAW2016、名古屋支部主催で MAW2017、福岡支部主催で MAW2018、仙台支部主催で MAW2019、広島支部主催で MAW2020、札幌支部主催で MAW2021、四国支部主催で MAW2022、2023 年は信越支部で MAW2023 が開催され、東京支部からも参加した。全支部一巡したことになり、2024 年からの実施については名称を IEW (Industry Engagement Workshop) と変更した上で開催することを決定。R10 SYWL2024 内での東京支部主催イベントとしての開催を目指して準備中。

## 8. 東京支部が所管となる Joint Chapter の運営支援

当初、JC では、2022 年度から chapter 支援費に関して Tokyo section への移管を目指していたが、コロナ禍もあり、業務移管準備をほとんど進められなかった。このため、2024 年度に移管時期をずらして、JC において、2023 年中に東京支部 COC との調整を行った。準備もほぼ整ったことから 2024 年からの完全移行を実施予定。2024 年からの移管対象は、Tokyo section の Chapter 支援費となる予定 (Award 申請は移管の対象外)。

## 9. 関連組織との連携、協力

### ● Japan Council 運営の支援

国内他支部(8 支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。

### ● IEEE 本部、R10 との連携

Section Congress や Region 10 Annual Meeting に参加し、他参加者との交流を図る。

本部役員の訪日に対し、IEEE Japan Office と連携して、懇談会、講演会等を企画し、情報交換を行う。また、各種国際会議を積極的に開催・参加する。

本部および Region 10 の各種委員会メンバーおよび各種 Award に対して、東京支部から積極的に推薦する。

### ● ソウル支部との交流

2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推

進する。2008年から実施している学生英語論文コンテストを継続開催するとともに、さらに交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画する。東京支部のみならず、広く日本のIEEEの学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

- **国内学会との協力関係の推進**

IEEE本部の国内学会との協働に関するルールに沿って、国内関連学会との協力関係を推進する。MOU更新作業を継続する。

以上

IEEE 東京支部 2024年計画案 (活動ベース)

2024.3.14

135

単位: JPY

2024年予算: US\$1= ¥135-で試算  
(2023年11月JC LRSCで検討 ¥140.00-¥5)

【収入の部】	2023年予算	2023年決算 (確定)	2024年予算	備考
210 Meetings & Social Events 定期開催 会議/懇親会参加費収入	0	26,000	0	
290 Meetings & Social Events 不定期開催 会議/イベント 収入	0	0	0	
310 Rebate from IEEE HQ 支部Rebate	3,781,755	4,113,739	3,601,260	\$26,676- (2023年実績で試算)
YP Rebate	39,825	31,340	39,825	\$295- (想定、2023年度実績)
LMAG Rebate	39,825	42,026	29,700	\$220- (想定、2023年度実績)
WIE Rebate	29,700	42,026	39,825	\$295- (想定、2023年度実績)
SB Rebate	0	144,107	133,920	\$992- (想定、2023年度実績)
Chapter Rebate	1,003,050	1,405,135	1,073,250	\$ 7,950- (想定、2023年度実績)
320 Region Receipts LMAG FUND	0	152,539	337,500	\$2500- (想定、2024年度予定)
YP FUND	0	0	67,500	\$500- (想定、2024年度予定)
WIE FUND	0	0	0	申請予定無し
SIGHT FUND	0	54,366	108,000	\$ 800- (想定、2024年度予定)
その他 Fund等	0	98,790	0	2023年 Section Incentive は無しとの予定
330 Sections or Councils JCからのSection Assessment還元	2,635,781	2,622,612	2,554,945	SA総額の15%
332 Receipts from MGA(RAB, other Major Boards) 監査費用サポート	180,000	180,000	180,000	
334 IEEE HQ & Societies 本部からのSection Assessment受取	17,571,870	17,484,083	17,032,964	\$ 126170.1 (2023年実績)
340 雑収入 (CB口座)	5,000	289,649	5,000	
345 雑収入 (CB以外)	3,000	50	1,000	
<b>収入合計</b>	<b>25,289,806</b>	<b>26,686,462</b>	<b>25,204,689</b>	
【支出の部】				
410 Meetings & Social Events 理事会・各委員会費	100,000	64,180	300,000	
その他会合費	100,000	32,000	200,000	リスト打ち合わせ関連費用他 (HCからの請求18万円含む)
総会運営費用	650,000	766,010	650,000	
講演会開催費用	500,000	404,308	500,000	予算計画回答済み
430 Advertising IEEE (Expense) 広告費	1,200,000	551,280	1,000,000	SMメダル購入、メダル・ピンバッチ送付費用
480 Student Activities SB支援費	800,000	572,759	850,000	予算計画回答済み
SB Rebate支払	0	144,108	0	
490 Other Program Expenses LMAG活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	180,000	470,200	455,000	予算計画回答済み (FUND 2500ドル申請予定)
YP活動費 (Rebate & Fund & 支部補助)	325,000	215,459	640,000	予算計画回答済み
WIE支援費	750,000	410,959	1,050,000	予算計画回答済み
その他イベントへの支出など	0	0	0	
SIGHT (Fund & 支部補助)	100,000	273,731	590,000	予算計画回答済み
550 Support to Sections/Chapters Councilへの拠出金	17,571,870	17,481,083	17,032,964	
Chapter Rebate 支払い	1,003,050	1,434,325	1,073,250	
事務局費				
事務局費1 計	3,000,000	3,333,395	3,000,000	JC共通事務局費 主に給料諸給/事務所賃料/事務機器リース等 (20%を東京支部負担)
事務局費2 計	500,000	326,855	500,000	JC共通事務局費 サーバ運営費 (25%を東京支部負担)
事務局費3 計	340,000	-848,651	340,000	*全体で200万円計上予定 東京支部 監査費用・手数料・備品等
予備費 その他	1,500,000	820,288	800,000	各種イベントへの派遣旅費、その他
<b>支出合計</b>	<b>28,619,920</b>	<b>26,452,289</b>	<b>28,981,214</b>	
未払組み戻し (YP活動費)				
収入ー支出	-3,330,115	234,173	-3,776,525	
前年度からの繰越金	11,226,652	11,226,652	11,460,825	
次年度への繰越金 (総額 活動基準) (※)	<b>7,896,538</b>	<b>11,460,825</b>	<b>7,684,300</b>	(※3,000,000円以上を半年分の運用資金とする)

**2024年東京支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	鄧 明聡 Mingcong Deng	東京農工大学	<i>for contributions to learning and operator based uncertain nonlinear systems analysis, control, and applications</i>
2	東京	藤本 博志 Hiroshi Fujimoto	東京大学	<i>for contributions to control of high-precision systems</i>
3	東京	亀山 俊平 Shumpei Kameyama	三菱電機	<i>for leadership in fiber-based lidar technology for environment sensing applications</i>
4	東京	村上 俊之 Toshiyuki Murakami	慶應義塾大学	<i>for contributions to reaction torque observer and power assisted control</i>
5	東京	山田 浩治 Koji Yamada	産業技術総合研究所	<i>for contributions to silicon photonics</i>
6	東京	吉川信行 Nobuyuki Yoshikawa	横浜国立大学	<i>for contributions to the development of low-power superconductive digital circuits and their application to reversible-computing</i>

**2024年他支部新Fellow**

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	仙台	田中 陽一郎 Yoichiro Tanaka	東北大学	<i>for contributions to perpendicular magnetic recording technology for disk drives</i>
2	関西	村田 忠彦 Tadahiko Murata	大阪大学	<i>for contributions to evolutionary multi-objective optimization and algorithms</i>
3	関西	浦岡 行治 Yukiharu Uraoka	奈良先端科学技術	<i>for contributions to reliability evaluation technology for thin film devices</i>
4	名古屋	清水 一男 Kazuo Shimizu	静岡大学	<i>for contributions to the modeling and applications of microplasma phenomena in complex industrial processes</i>
5	福岡	檜山 隆 Takashi Hiyama	熊本大学	<i>for contributions to intelligent power systems</i>

**2024年IEEE Medals, Technical Field Awards, 日本からの受賞者**

**【Medals】**

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE Nick Holonyak, Jr. Medal for Semiconductor Optoelectronic Technologies	小山 二三夫 (東京工業大学)	<i>For pioneering contributions to vertical-cavity surface-emitting laser (VCSEL) and VCSEL-based photonics for optical communications and sensing.</i>

**【Technical Field Awards】**

No.	名称	氏名	Citation
1	IEEE James L. Flanagan Speech and Audio Processing Award	徳田 恵一 (名古屋工業大学)	<i>For pioneering contributions to statistical speech synthesis and speech signal processing.</i>
2	IEEE Andrew S. Grove Award	木本 恒暢 (京都大学)	<i>For contributions to silicon carbide material and power devices.</i>

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Operations
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
  - History
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.
3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

#### **Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

#### **Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

#### **Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

#### **Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.
3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

#### **Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.

3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

- 
- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 29<sup>th</sup> March 2016.

事務局連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館 517 号室

Tel: 03-5776-7670

Fax: 03-5401-3850

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)